金城学院大学　シラバス

開講年度(Year)	2021年度	開講科目コード(Course code)	06370001
授業科目名(Course name)	オペラアンサンブル		
担当者(Instructors)	能勢 健司		
開設学部学科(Department)	文学部　音楽芸術学科	科目分類番号(Course classification number)	263
開講クラス(Class)	音２	開講形態 (Course format)	演習
科目区分(Course classification)	専門教育科目 専門教育科目	単位数(Credits)	2
開講期・曜日・時限(Semester / Day of the week / Period)	前期 木曜１限	担当形態 (Instructor format)	単独
実験実習費 (円) (Experiment/training fee (yen))	2,500	履修者数上限 (名) (Maximum number of students)	56

他学部他学科生履修不可(No other undergraduate departments students can study)

■授業の概要(Course outline)

オペラアンサンブルでは、おもにモーツァルトのオペラ作品から特にRecitativo(seccoとaccompagnato)
や、また重唱曲を取り上げ、譜読みの方法や、また、他人の声を聴きながら調和のとれた響きと音楽を作り出すを作ること、そして楽譜から役柄の心情や情景を読み取り、それを表現をする研究をする。

■到達目標(Course goals)

オペラ作品のアンサンブル作品の中で声部の役割や和声感を意識できる歌唱の基礎を身につけている。

■履修上の留意点(Important points)

声楽(１)(２)を既に履修の学生

■学位授与方針 (Diploma policy)

１．知識・理解

音楽芸術に関する専門的知識と演奏技能を身につけるとともに、豊かな人間性を支える教養と深い専門的知識を身につけている。　○

２．汎用的技能

日本語や英語で多様な人々とコミュニケーションを行うとともに、音楽演奏を通じて様々な楽想を適切に表現し伝えることができる。　◎

３．態度・志向性

自らを律し、他者と協働して目標の実現のために行動できるとともに、向上心を持って学び続けることができる。　◎

■授業計画(Lesson plan)

1. 授業のガイダンスとアンサンブルについて。
2. 『フィガロの結婚』について。作品の成立と背景、あらすじ、登場人物像etc
3. モーツァルトのRecitativo seccoについて
4. Recitativo: Cosa mi narri を題材にしてⅠ　楽曲研究
5. Recitativo: Cosa mi narri を題材にしてⅡ　seccoのフレーズを休符
6. No.21. Che soave zeffirettoを題材にしてⅠ　楽曲研究

7. No.21. Che soave zeffirettoを題材にしてⅡ　seccoから曲の移行
8. Recitativo: Quanto duol mi, Susannaを題材にしてⅠ　楽曲研究
9. Recitativo: Quanto duol mi, Susannaを題材にしてⅡ　seccoの物語の進行
10. No.15. Aprite presto apriteを題材にしてⅠ　楽曲研究
11. No.15. Aprite presto apriteを題材にしてⅡ　舞台上の場所と空間
12. No1. Cinque...dieci...ventiを題材にしてⅠ　楽曲研究
13. No1. Cinque...dieci...ventiを題材にしてⅡ役柄と場面を意識して
14. 演奏発表のリハーサル
15. 演奏発表と講評

■授業時間外学修（予習・復習）の内容・時間(Preparation/review details and time)

各自の譜読みや、作品解釈やアンサンブルのあわせ等グループワークを行う

■課題／課題に対するフィードバックの方法(Assignments/feedback)

授業内で指示と指導を行う

■テキスト・参考書(Textbooks/references)

授業で取り上げる曲の楽譜、リブレットを各自で用意する。
モーツァルトのオペラはBärenreiter版を使用する。

■評価方法(Evaluation method)

授業内発表　70%

関心・意欲・態度等の平常点　30%

■授業時間外の学生からの質問への対応(Responding to questions from students outside class hours)

授業時間前後やKmail等で随時受け付ける